

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となられる方のご家族もしくは代理の方にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	日本人寛骨の非計量的性推定		
1. 研究の目的と方法	アメリカで開発された骨盤の男女差を区別する特殊な計測方法があります。この計測方法は、日本人にも有効であるか否かは分かっていません。今回の研究では、この計測方法が日本人にも適応できるか否かを調べるために、骨盤の骨の形を解析し、得られたデータを分析します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年5月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学に1910年10月27日～1994年4月25日の間に献体され、かつ骨の提供をされた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	骨盤の骨	
	(2) 試料の取得の方法	東京慈恵会医科大学への献体	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、死因、既往歴、骨盤の骨の形	
	(4) 情報の取得の方法	骨盤の骨の各種部位の計測	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 解剖学講座
		氏名	岡部 正隆
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤 千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 解剖学講座 橋本 透	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	ボストン大学大学院法医学人類学分野 大学院学生 松岡 祐有紀 (機関の長: Karen H. Antman)	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、年齢・性別以外の個人情報削除し、新たに研究用のIDや番号をつけてから、5(4)に記載された研究代表機関のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法: 提供を受けた試料・情報は、特定の個人を識別できないように加工された後、以下の外国の機関に提供します。試料・情報は東京慈恵会医科大学・解剖学講座内で直接手渡しします。試料骨自体は東京慈恵会医科大学・解剖学講座内のみで扱い、外部への持ち出しは行いません。提供された情報は、アメリカ合		

	<p>衆国の個人情報保護に関する制度等に従い管理・保管されます。詳細は下記をご参照ください。</p> <p>① 機関名称：ボストン大学大学院（所在国：アメリカ合衆国）</p> <p>② 当該国の個人情報の保護に関する制度の情報： 連邦法、マサチューセッツ州法により個人情報が保護されています。</p> <p>③ 上記①の機関が講ずる個人情報の保護のための措置に関する情報： アメリカ合衆国全土を対象とした連邦取引委員会法に加え、さらにマサチューセッツ州独自のマサチューセッツ・データ・プライバシー法によって強固に個人の包括的なプライバシー権利が保証されています。</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2026年5月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 解剖学講座</p> <p>研究責任者：教授 岡部 正隆（おかべ まさたか）</p> <p>窓口担当者：准教授 橋本 透（はしもと とおる）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 2201）</p> <p>対応時間：平日 9：00 ～ 17：30</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。